

ふちゅう歴史散歩 Vol.134

人々の思いをつないできた 扇橋



昭和9年の渡初式の様子。背後には広谷と新市との境の山並みが見えます。
※写真は、個人提供。



コンクリート製欄干のデザインが特徴的な現扇橋(手前)と工事が進む新扇橋(左奥)

扇橋は、府中市街地と右岸の栗柄町はもとより、南の丘陵を超えて瀬戸内沿岸の福山市松永を結ぶ重要な路線として、既に明治末年の地図に示されています。江戸時代の文化2(1805)年の記録に、栗柄村と高木村との境の大川(芦田川)に「大木」と「しき谷」の2箇所の仮橋(大水の時舟渡し)があるとの記述があり、「大木橋」が転じて、明治18(1885)年に「扇橋」と名付けられたと推測されます。

昭和6(1931)年の洪水によって、それまでの橋の一部が流失したため、昭和8(1933)年に県

が公費三万七千余円(現在の金額で約九千余万円)で起工し、昭和9(1934)年2月7日に当時としては、郡内一の橋として、現在の扇橋が完成しました。落成時には、数千人の見物人が集まり、三世代家族による渡初式が盛大に催行されました。

現在、新扇橋(仮称)の工事が進んでいます。完成後も、地域とともに人々の思いをつなぐ大切な府中の場所となっていくことでしょう。

参考文献『扇橋』令和3年5月改訂版
栗生歴史民俗文化伝承研究会編

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

「入浴剤のパッケージづくり」 高校生編 その91



投稿者(文と写真)
上下高校2年
瀬戸唯史さん

今回、私は天領上下ひな祭りの期間中に開催されたスタンプラリーの景品の一つである入浴剤のパッケージづくりを行いました。

私がこの活動に参加した理由は、昔から絵を描くことが好きで、自分の描いた絵をひな祭りに参加してくれた人に見てもらいたかったからです。

入浴剤のパッケージは、入浴中の人々がほっぺを赤くしてリラックスしているように描きました。また、「人が一番落ち着く時間帯」と調べた時に、夕方が出てきました。私の中で夕方は、夕日に照らされて赤く染まっているイメージがあるので、背景を赤ベースにしました。入浴している

女性にも工夫しました。上下町は歴史を感じさせる町なので女性の髪形を日本髪にしています。

デザインを描く時、私はスマートフォンのアプリを使って描いたのですが、タッチペンを持っていなかったため、全て指で描きました。指で描くと、思ったように描けないので、少しずつ線を引いてその線をつなげていきました。この作業は時間がかかり、集中力がきれそうになるので大変でしたが、大変だった分、完成した時はすごくうれしかったです。



府中市 R C C ラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30~16:45(そのうちの5分間) R C C ラジオ(1530KHz)

放送日	放送内容
6月6日(月)	第47回上下あやめまつり開催
6月13日(月)	道の駅びんご府中に新レストランがオープン
6月20日(月)	府中市こどもの国ポムポムに大型遊具が誕生
6月27日(月)	企業・起業家紹介「株式会社マザーアンドチルドレン」

公式 SNS
LINE

公式 SNS
facebook

スマホアプリ
radiko(ラジオ)

府中市メール配信サービス